



『幸せへの第一歩』

学生担当 本吉 満

挨拶はコミュニケーションの第1歩です。挨拶しないとそれ以上のコミュニケーションには発展しません。生活していると挨拶をしない人に遭遇することがあります。挨拶をしない＝あなたに好意（興味）がありません、というイメージを相手に与えていることになります。廊下を歩く時にすれ違う全ての人に挨拶をしなければ、それはその全員にあなたに好意はもっていません、あなたが嫌いですと言いながら歩いているのと同じことです。

本人はそこまで考えていなくても相手はそうに感じます。そしてその結果、社会的に孤立することになります。一方、挨拶をする＝あなたに友好的であるというイメージを与えます。無視されることを恐れず、軽い会釈でもよいので挨拶をして、相手に対してポジティブな印象を与えることができれば、周囲はあなたに好意を持つようになります。その結果社会に受け入れられ、友達もたくさんできて楽しい人生が送れるようになります。友達がたくさんできれば、勉強で分からないことを聞く相手も増えるので成績が上がるかもしれません。今日からでも遅くありません。挨拶なんて簡単なことです。声に出さなくても良いので、軽く会釈するだけでも相手からのイメージは大きく変わります。そしてあなた自身も幸せな気持ちになります。学生生活を謳歌するためにも是非試してみてください。

(教授 歯科矯正学講座)

ワールド・カフェ

三澤 麻衣子

日本大学ワールド・カフェが6月2日に開催されました。日本大学にある16学部と短期大学部2校舎の初年次の学生が交流することで、学びのモチベーションを高めるとともに、視野を広げてもらう機会として、毎年1回行われています。

本年度の日本大学ワールド・カフェは、学生が自身のこと、そして所属する学部のことをお互い伝え合う時間が多くとられていました。限られた時間の交流ではありましたが、歯学部とは異なる様々な専門分野の学びや、学生生活を知り、第1学年の学生は、総合大学であることを実感したことと思います。

さて、日本大学ワールド・カフェは、第1学年の自主創造の基礎という科目の中で行われています。自主創造の基礎の最初の授業で、「大学生は受動的ではなく、能動的に学ぼうとする人だ」と全学部の初年次学生に伝えています。そして、自身の考えを



授業の課題で何度も書いてもらいました。自身の考えを他人に能動的に伝えることの大切さや難しさは、毎週の授業よりも、

日本大学ワールド・カフェのほうが実感できるように思います。初めて行く他学部のキャンパスで、知らない学生と教員の中、能動的に行動したり、発言したりすることは難しいものです。今後も、歯学部で新しい学問を学び、多くの新しい先生と出会います。他人に考えを伝える際には、丁寧に取り組み、初めての経験や出会いを大切にしながら、充実した学生生活を過ごしていただく。



また、日本大学ワールド・カフェは、多くの人の協力なくしては開催できませんでした。準備、授業、片付けと、長時間に渡りご協力いただいた先生方と職員の皆様のおかげで無事終えることができました。感謝しております。ありがとうございました。

(専任講師 医療人間科学分野)

エルサフティ ウルジ

私は、6月2日のワールド・カフェに参加しました。ワールド・カフェは、日本大学が主催するディスカッション形式のイベントです。少人数のグループでテーマに関する議論を行い、参加者同士が自由に意見を交換しながら、知見を深めることを目的としています。また、自分と違った視点を持つ様々な人と、交流を深めることができます。

今年度は、「大学ってどんなところ」というテーマのもと、6人で1つのグループとなり、各学部の長所や短所をお互い話し合いながら、日本大学の改善点や在り方についてそれぞれ考え、1つの模造紙に書き込みながら、意見交換を行いました。その後、グループで話しあった内容を、他のグループの人とも話し合うことで、また新しい考えに出会えました。最後に、再び元のグループで、理想とする大学像を紙にまとめて終了となりました。

私は、グループの学生たちと話をしていく中で、今まで知らなかった他学部について多くのことを知ることが出来ました。ワールド・カフェのように、他学部の学生と一緒に学ぶことや、友達となる交流は、自分の学部にいるだけでは得ることのできない、新しい発見や学びが得られます。他学部のことを知り、自身を振り返ることで有意義な時間となったように思います。また、ワールド・カフェは「カフェ」のようなリラックスした雰囲気の中で行われるため、意見交換がしやすい場でした。意見を交換しやすい雰囲気があることで、グループが1つとなり、問題解決や協調性の向上につながっていったように思います。どのグループも自主的に模造紙に書き込みながら話し合いをしておりました。

ワールド・カフェに参加することで、新しい発見と学びを得ることができ、日本大学の理念である自主性と創造性を体現することができたと思います。

(第1学年)



令和6年度新任教員 FDワークショップ

小山 亮

5月18日に令和6年度新任教員FDワークショップがオンラインで開催されました。本年度より新規に採用された全学部の教員が、Zoomでグループに分かれシラバス作成を行うワークショップを行いました。ワークショップ前には、「学生と創る 授業デザイン Teaching Guide」を活用した講演があり、日本大学教育憲章や学生が日本大学で身に付ける8つの能力について学びました。ワークショップでは専門分野が異なる各学部の教員と意見交換しながら一つのシラバスを作りあげることによって学生の能力育成に向けた学修目標の設定方法と評価方法を学ぶことができ非常に有意義な時間となりました。

(助教 口腔外科学第Ⅱ講座)

ルーブリックの基本

Teaching Guide
P.18

■ ルーブリックの基本

	評価尺度1	評価尺度2	評価尺度3
評価観点A	評価基準(A-1)	評価基準(A-2)	評価基準(A-3)
評価観点B	評価基準(B-1)	評価基準(B-2)	評価基準(B-3)
評価観点C	評価基準(C-1)	評価基準(C-2)	評価基準(C-3)

例：プレゼンテーションのルーブリック

評価項目	評価基準		
	可	良	優
発表内容	リサーチは行っているが、授業との関連性が薄い	リサーチが十分に行われており、授業との関連性もある	リサーチに深みがあり、自身の知見を盛り込まれていて、授業との関連性も高い
発表資料	スライドが文章のみで工夫が少ない	スライドに文章に加え、図や表などを使用し、1か所は工夫をしている	スライドに文章に加え、図、表、画像、装飾等を見やすく配置し、2か所以上の工夫がある
発表スキル	アイコンタクトが少なく、声の明瞭さに欠ける	アイコンタクトを発表時間の半分以上行い、明瞭な音声で発表している	発表中はずっとアイコンタクトを行い、資料はほぼ見ない明瞭な音声でジェスチャー等を交えて発表している

 日本大学FD推進センター



歯学体を終えて

歯学体正評議委員 ニツ谷 和那美



56回と長きにわたって開催されている伝統ある全日本歯科学学生総合体育大会が、今年度も無事に行われました。本学部の総合成績は昨年度に引き続き準優勝という大変素晴らしい結果を収めることができました。この結果は、それぞれのクラブが日々の練習から仲間と共に高め

あい、励まし合って勝ち取った証だと思います。

部門としてはバレーボール部、卓球部、柔道部、日本拳法部、水泳部の5つのクラブが優勝、アーチェリー部、陸上部の2つのクラブが準優勝と好成績を収めました。本当におめでとうございます。今年は4年に一度のオリンピックもパリで開催され、数々の感動の場面に心を打たれました。今回の大会で、私自身もいくつかの会場に足を運び応援させていただきましたが、競技に対して熱く真剣に向き合い、どんな時でも諦めず、勝利を目指す姿が深く印象に残っています。そのような積み重ねが「総合準優勝」につながったのだと感じています。また試合が終わった後には敵味方関係なく、チームの輪を超えて讃えあう姿にとっても感動しました。

出場された選手の皆さん、本当にお疲れ様でした。歯学部において勉学と部活動を両立させることはとても大変だったかと思いますが、また、今回の大会で思うような成績を収められられず悔しい思いをされた方もいらっしゃるかと思いますが、その気持ちも含め、これまでの日々の練習で培ってきた財産は今後の人生において必ず糧になると信じています。今大会で得られたかけがえのない経験を来年以降にも活かして、次こそ総合優勝を日本大学歯学部全員で勝ち取っていきましょう。我々一同、全力でサポートし応援していきます。

最後にはなりますが、大会主管をしてくださいました大阪大学の皆様、各クラブ顧問・監督・OBOGの方々、大学関係者の皆様、そしてご支援いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

(第5学年)

歯学体結果
報告は次ページより

第56回全日本歯科学生総合体育大会 総合成績

順位	大学名	得点
優勝	九州歯科大学	137.03点
準優勝	日本大学歯学部	130.50点
3位	東京歯科大学	102.03点
4位	愛知学院大学歯学部	95.53点
5位	広島大学歯学部	73.00点

本学部が得点した部門（上位3位）

夏期部門

1位	バレーボール	20点	柔道	17点
	水泳	19点		
	卓球	19点		
2位	陸上競技	14点	日本拳法	13点
	アーチェリー	8点		

夏期部門の個人種目入賞者

（バレーボール部）

【MVP】米山英介（5年）

（水泳部）

【優勝】浅見大和（2年）〈男子100mバタフライ（大会新）、男子100m平泳ぎ〉
田宗勲（6年）、鈴木大智（3年）、塚田海都（3年）、浅見大和（2年）〈男子4×50mフリーリレー〉
大山泰世（6年）、鈴木大智（3年）、塚田海都（3年）、浅見大和（2年）〈男子4×200mフリーリレー（大会新）〉
田宗勲（6年）、鈴木大智（3年）、浅見大和（2年）、塚田海都（3年）〈男子4×50mメドレーリレー〉

【準優勝】鈴木大智（3年）〈男子200m平泳ぎ〉

田宗勲（6年）〈男子200m背泳ぎ〉

塚田海都（3年）〈男子400m自由形〉

【3位】鈴木大智（3年）〈男子100m自由形〉

塚田海都（3年）〈男子200m自由形〉

丸山彩奈（2年）〈女子200m個人メドレー〉

河野令華（6年）〈女子100m自由形〉

齊藤百恵（2年）、村上愛紗（4年）、河野令華（6年）、佐藤瑞眞（2年）〈女子4×100mフリーリレー〉

齊藤百恵（2年）、佐藤瑞眞（2年）、村上愛紗（4年）、河野令華（6年）〈女子4×50mメドレーリレー〉

村上愛紗（4年）、鈴木大智（3年）、浅見大和（2年）、佐藤瑞眞（2年）〈混合4×50mフリーリレー〉

（卓球部）

【優勝】国岡真由（5年）〈女子個人戦〉

富永龍（2年）〈男子個人戦〉

（柔道部）

【優勝】小澤あゆ（1年）〈女子個人戦〉

新藤佑大（4年）〈男子73kg級〉

今村一能（3年）〈男子90kg級〉

【準優勝】ParkJaeie（2年）〈女子個人戦〉

【3位】中野仁人（5年）〈男子81kg級〉

（陸上部）

【優勝】市石茉愛（5年）〈走り幅跳び〉

須藤日菜子（5年）〈砲丸投げ〉

中村健太郎（3年）〈男子最優秀選手賞〈やり投げ（大会新）、砲丸投げ、円盤投げ〉〉

【準優勝】エルサフティウルジ（1年）、市石茉愛（5年）、河野沙耶（2年）、須藤日菜子（5年）〈女子4×100mリレー〉

市石茉愛（5年）〈100m、200m〉

河野沙耶（2年）〈400m〉

【3位】齊木洸将（4年）〈三段跳び〉

（洋弓部）

【優勝】道本里菜（1年）〈女子新人戦〉

【準優勝】今井日菜子（3年）〈女子個人戦〉

玉木飛鳥（1年）〈男子新人戦〉

【3位】佐野令佳（1年）〈女子新人戦〉

（空手道部）

【3位】渡辺賢太郎（4年）〈男子個人戦〉

金安美加子（3年）〈女子個人戦〉

戸塚結衣（3年）〈女子個人戦〉

平賀衣穂（2年）〈女子新人戦〉



優勝 バレーボール部

主将 米山 英介

バレーボール部は、広島で行われた第56回歯学体において、創部以来初の総合優勝を成し遂げることができました。男子は初の単独優勝、女子は準優勝と男女それぞれ好成績で終えることができました。私自身、創部60周年という節目の年に部長として優勝できたことをとても嬉しく思います。この優勝を機にチームとしてさらに絆を深め、2連覇を目指し日々練習に励みたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。最後に、顧問の高見澤先生、監督の及川先生をはじめ、OB・OGの先生方、そして本学の同窓会、後援会の方々には、日頃の温かいご支援に心より感謝を申し上げます。（第5学年）



優勝 水泳部

主将 青木 知香

「デンタル2連覇」「入って良かったと思ってもらえるクラブ」これは私が目指した水泳部です。そのために、毎回のクラブで部員全員と話すこと、人一倍声を出してクラブを盛り上げることを心がけてきました。人数が少ない時期があり、一度はデンタル優勝を諦めかけました。しかし、6年生が出場してくれたり、1年生が10人も入ってくれて、最後はみんなの力を合わせて優勝を勝ち取ることができて良かったです。大会には多くのOB・OGの先生、家族、先輩が駆けつけてくださり、たくさんの応援のおかげで水泳部が一丸となってデンタルに挑むことができました。今まで近くで支えてくれた同学年の仲間をはじめ、部員全員に感謝です。（第4学年）





優勝 卓球部

主将 小竹 愛

卓球部は、8月に長崎県で開催されたオールデンタルにおいて、総合優勝（男子団体3位、女子団体準優勝）を勝ち取ることができました。卓球部としては総合優勝初の2連覇と大変嬉しく思います。このような輝かしい結果は部員皆が一丸となり試合に望むことができた成果の賜物だと思います。これまで支えてくださった全ての方々に感謝いたします。来年度も素晴らしい報告ができるよう日々精進して参りますので、引き続きご指導のほどよろしくお願いいたします。（第4学年）



優勝 柔道部

主将 新藤 佑大

この度、柔道部は昨年に続き団体戦で優勝し2連覇することができました。また、個人戦でも3部門で優勝でき満足のいく結果で終えることができました。大会期間中は怪我などの困難に突き当たり決して容易な道のりではありませんでしたが、部員みんなで勝ち取れた価値のある優勝だったと思います。来年度は日本大学歯学部史上初の3連覇を達成できるようまた精進してまいりたいと思います。最後にお忙しい中、大会に携わっていただきましたOB・OGの先生方、応援してくださった皆様ありがとうございました。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。（第4学年）



優勝 日本拳法部

主将 川俣 航平

伝統を受け継ぐ。私が日本拳法部主将につかせて頂いた時に決めた自分へのスローガンでした。その中で団体戦3連覇は、先輩達から受け継いだ「強い日本大学歯学部日本拳法部」を証明できたと思います。本当に強くて優しいOB、OGや先輩方、いつも競ってる仲間や、可愛いマネージャー

達、心強い後輩達、そういった人々が全て集まって、団体戦優勝することができました。日本拳法は実戦に近く、競技性も高いため生涯できる総合格闘技です。大勢の皆さんに興味を持って頂けたらうれしいです。これからさらに日本拳法部を盛り上げて、先輩の皆さんから受け継いだ「強い日本大学歯学部日本拳法部」をしっかりと後輩へ繋いでいきます。（第4学年）



準優勝 陸上競技部

主将 齊木 洸将

今年度のオールデンタルでは陸上競技部は総合準優勝（女子総合優勝、女子フィールド部門優勝、男子フィールド部門準優勝）でした。準優勝は大変喜ばしい結果ですが、念願であった7連覇は達成できず、悔しさも残る大会でした。しかし新入生、マネージャーも含め、全員の活躍により掴み取ったこの結果に胸を張り、来年は王座奪還を目指して頑張っていきたいと思います。また、たくさんのOB、OGの方からも応援をいただきました。応援してくださった皆様に心より御礼申し上げます。（第4学年）



準優勝 洋弓部

主将 小澤 心平

洋弓部は団体総合2位、女子総合2位、男子総合2位、新人戦に至っては入賞者10名のうち半数が当部活1年生と、素晴らしい結果を残すことができ、大変喜ばしく思います。コロナ禍以降初の部門主幹を担当させていただいた中で、運営の難しさを学びつつも、部員一丸となって準備に励み、充実した大会となりました。競技当日に気温が一時40℃を超えることもあった過酷な環境下において、参加者全員が無事に大会を終えることができたのは、先生方や先輩方のご助力、各大学選手の方々のご協力、そして何より後輩たちの弛まぬ努力があってこそでした。応援してくださった皆様にこの場をお借りし、感謝申し上げます。（第4学年）



ノルウェーへの 短期海外派遣

松本 邦史

3月末から約2ヶ月半、ノルウェー王国・オスロ大学歯学部歯科放射線学講座（Chair：Dr. Arvidsson）に滞在しました。本講座には私の師である本田特任教授が25年前に留学されていましたが、当時から現在に至るまで、顎関節疾患の画像研究における世界のトップランナーです。今回、特殊な解析手法を利用して、MRIから咀嚼筋の痛みに関連する特徴を数学的に抽出する研究を実施しました。自分の研究を進めるだけでなく、講座内でのケースプレゼンテーション、口腔外科でのカンファレンスや見学、他講座スタッフとのディスカッションなど貴重な体験をすることができました。ノルウェー人は小学生くらいには皆バイリンガルで、私がいる間のランチタイム、ミーティング・カンファレンスはすべて英語で行ってくれました。また、医局員全員で電車にゆられ訪れたスウェーデン・イエテボリ大学への医局旅行は一番の思い出になりました。

ノルウェーは、世界屈指の福祉大国というだけあって、育児、教育、就労、医療などの社会システムが羨ましいほどに国民ファーストに整備されています。また、オスロは自然と近代建築が融合し、美しくとても素敵な街でした。また、完全なるカード社会で、ICTの発展も著しく、スマホ1つでほぼ日常生活が送れます。医局のスタッフは面倒見がよく、今週末はここへ行くぞ、来週はこの店に行ってい、などととても親切にしてくれました。短い期間でしたが、彼らのお陰でいろいろな経験ができました。

稿を終えるに当たり、派遣の許可とご協力をいただいた飯沼学部長、新井教授、本田特任教授ご夫妻、日々のサポートをしてくれた歯科放射線学講座の仲間たち、研究事務課の皆さん、そして、ワンオペ育児を頑張ってくれた妻に心より感謝いたします。

（准教授 歯科放射線学講座）



随 想

主観と客観

米原 啓之



「行く川のながれは絶えずして、しかも本の水にあらず。よどみに浮ぶうたかたは、かつ消えかつ結びて久しくとゞまることなし。」鴨長明による有名な方丈記の冒頭の一節です（青空文庫：https://www.aozora.gr.jp/cards/000196/files/975_15935.html）。

岸部に立って川の流れを見た情景が書かれていますが、教員として大学での生活を振り返ると、これと似たことを感じる事があります。4月に新入生や講座の新人を迎え、3月には卒業生や大学勤務を終了して新たな道に進む人たちが講座を離れます。川の流れと同じように大学に勤める我々の前を数多くの人が通り過ぎて行ったように感じる事があります。

川の流れを人の世と同様に感じることは、その動きを客観的に見ている状態です。しかし、同じ川の流れでも、川の流れに身をまかせて泳いでいる場合や舟に乗って川を移動している場合には、自分に川の流れが影響しますから、川の流れを客観的に見ているわけではありません。長閑にゆったりとした流れであれば泳ぐのも楽でしょうし、舟もゆっくり進みます。一方、流れが速くなっていけば溺れたり、舟が転覆してしまうこともあります。このような状態では、客観的に状況を見るのではなく、自らが流れを克服する様に主体的行動する必要があります、すなわち主観的な立場となることになります。

大学生活でも同様に、人の出会いや別れに時の流れを感じたり、学生の入学から卒業までをデータにより分析して行くことは客観的な立場です。一方で、実際に学生がどのような資質を持っていてどの様に行動するかを実際に学生と関わるなかで観察して、それを教育においてどの様に反映させるか、学生にとってどの様に教育を行うのが良いかを判断して、教育内容を改善していくのは教員として主体的な活動であり主観的な問題となります。

現在は情報量が多いため、分析して対応を検討することに目が行きがちですが、教育の基本は人と人とのふれあいであり、学ぶことは学ぶ側と教える側がそれぞれ主体的に行動することにより成り立ちます。われわれ教員が教育者として自分がどの様に主体的に行動するかを今一度確認することが重要な時期に来ていると感じています。

（教授 口腔外科学第Ⅱ講座）

韓国慶北大学との国際交流

小林 真之

令和6年7月12日に韓国大邱にある慶北大学歯学部において2024 Korea-Japan Joint Symposium-Recent Topics in Orofacial Pain Mechanisms - が開催され、本学生理学講座の岩田幸一特任教授、林良憲准教授、人見涼露専任講師、そして私が招待され、講演を行いました。慶北大学側からは解剖学講座のBae教授と生理学講座のAhn教授が講演されました。岩田先生と私はBae先生と古くから知己があり、その縁もあって、本学は2011年から慶北大学歯学部と姉妹校の協定を結び、研究分野において国際交流を続けております。今回のシンポジウムもその一環で、Bae先生が来年2月に退任することを記念して開催にすることになった次第です。

岩田先生と私が2011年に同大学でセミナーを行った際、大変温かいもてなしを受けたことが昨日のこの様に思い出されます。今回も2泊3日の強行軍でありましたが、前回同様、熱い歓迎を受けました。Bae先生との再会は久しぶりでしたが、「お互い変わりませんね」「研究は順調に進んでいる様で何よりです」「あの研究はどうなりましたか?」「今、興味があるのは…」などブランクを全く感ずることなく会話を重ねることができました。このように海外の研究者とお互いを高め合う議論を行い旧交を温めることは、研究者の醍醐味であり大きな喜びです。今回、林・人見両先生にとって、海外での英語による講演は経験がないということで、大変緊張していたようですが、この貴重な経験は今後の研究生活をより充実させるために必ず生きてくるものと思います。

今後は、Bae先生が退任されるため、Ahn先生との連絡を通じて慶北大学との学術交流を進めていきたいと考えています。 (教授 薬理学講座)



シンポジウムを終えての記念撮影

黄色 * Ahn教授、* * Bae教授
赤色 * 岩田特任教授、* * * 小林、* * * 林准教授、
* * * * 人見専任講師

日本大学図書館歯学部分館 学生選書委員の活動

平賀 衣穂

図書館に学生選書委員が推薦し、導入された本のコーナーがあるのをご存知でしょうか？

学生選書委員の活動は2ヶ月に1回、オンラインを利用して行われています。書店・図書担当の方が作成した新刊リストの中から本を選出するだけでなく、自分のおすすめの本を理由書を添えて自由推薦することもできます。採用された本はその都度、推薦文と共に展示され、貸し出されています。図書館の中で本屋さんの様なコーナーとなっていて、児童書などの簡単な本から小説や少し専門的な本まで色々な読んでみたくなる本がありますので、ぜひ覗いてみてください。

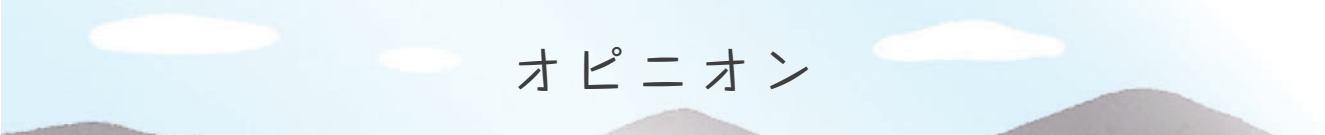
その他、図書館では映画上映会や図書館ワークショップなども行われています。図書館イベントに興味のある方のご参加をお待ちしています。(第2学年)

今仲 晏智

皆さんは、自分の考えていることを文章にして書き記してみた、といった経験をすることがあるでしょうか。例えば、映画を観た感想でも良いですし、日々の日記でも良いのです。ちょっとした何か思ったことや、感じたことを、短い文章にしてまとめてみて欲しいのです。すると、自分の頭の中でモヤモヤと感じていたアレやコレが、すっきりと文章としてまとまっていきます。

今この瞬間にも、世界中の誰かが頭の中でモヤモヤと考えたことを、文章にしてSNSなどに発信しています。この誰かが作った文章を読むのは非常に面白いものです。このように、考えたことを整理して文字にする作業に人生を賭けて積み重ねた時に、本が生まれるのです。世界中の誰かが、その人にしか見えない視点で見た世界を、本を通して、私たちも見る事が出来るのです。(第4学年)





オピニオン

○4月に入学し、歯科医師を目指して基礎的な内容を学び始めた。予想外に印象的だったのは、スポーツ健康科学である。体力テストとその後の授業で、運動は若者だけがやることではなく、仕事に就いてからも自分に合ったものを継続することが大事であると気づくことができた。中国でも同様のテストが実施されているが、その結果の説明はなく、自身の身体能力のどこに不足があるのかも把握できなかった。幼い頃から運動の習慣を持っている皆さんは、それが当たり前のことだと思いかもかもしれないが、自分にとっては全く新しい発見であった。健康の維持増進のために運動を真面目にやろうと思ったことはなかったが、今からでも遅くはない。運動習慣を身に着けていこう。

(1年 YU JINREN)

○2学年の前期は想像以上に厳しい半年でした。新カリキュラムのもと、ほぼ毎週試験や課題があり、圧倒される日々が続きました。暗記と理解をひたすら繰り返す中で、互いに支え合い、助け合う仲間が存在がどれほど重要かを強く感じました。高度な科目では一人では理解しきれない部分も多く、仲間との会話やディスカッションを通して学びを深めることができました。私はまだ2年生ですが、今後何かを成し遂げる過程で、自分の力不足に悩むこともあるでしょう。そんな時、仲間が心の支えになれば何より嬉しいと思います。後期からは実習科目が多く始まり、いよいよ技術を身につける段階に入ります。これからも仲間と共に学び、成長し続けていきたいと思っています。

(2年 楠美 周平)

○第3学年になり、もう大学の半分を終えようとしている。正直、入学してからあつという間だったように思うが、思い出されるのは、友人と過ごした楽しい時間ばかりである。球技大会では全力で競技に夢中になり、クラスコンパでは周りとは会話をする機会が増えた。平常試験が重なる大変な日々は、周りの友人の言葉に何度も救われた。楽しい時も大変なときも、これまで学生生活を過ごせたのは、多くの友人のおかげだと思い、感謝している。歯科医師になるという同じ夢を持った仲間同士、これからも共に支え合いながら、困難を乗り越え夢に向かって突き進んでいきたい。

(3年 関 幸華)

○あなたは自分のOpinion（意見）を相手に率直に伝えられますか？貴方の立場が弱くても？自分が有利な時だけ？気まずい関係の時は？Opinionは、推測に基づく見解、信念、尊敬などを表す単語が由来です。日本人は全てを語らず行間を読むコミュニ

ケーションが得意であり美しいとも言われています。しかし、改めて意見とは？と考えてみると本当にそうなのでしょうか？何かに対し意見を持つ時、それは自分が育ってきた環境や自分の現状から形成されると思います。では行間を読み自分の意見はそっと心に閉まっておく行為は自分という人間を知らせ、相手を知ることが表面的な行為に感じるのです。

貴方の意見は人を勇気づける事も傷つける事も又、自分の価値観を広げる事もできるととても大きな力を持っているものです。私は、行間を読み波風を立てない意見ではなく相手を知り自分を知ってもらう為の自分の心に正直な意見を恐れず相手に伝える一歩を踏み出すことで、自分とは異なる考えを持つ人とも理解しあえる人間でありたいです。そして、そんな仲間が増えていったら更に嬉しいです。これもまた私の意見であるので色んな見解があっても当然です。ですが、最後まで私の意見を読んで頂きありがとうございます。

(4年 森田 真理)

○5年で登院を迎えてから、クールも2週目となりました。今年から方針も変わり、POS型実習に加え、配当型システムが各科でスタートしています。それにより、患者さんの治療について一貫して追うことができる機会が増えました。先生方がどのように診断し、治療計画を立て、そのゴールに向かい道筋を描くかを実際に見ることで、経験だけでなく生きた知識量の重要性に気付かされました。そのような貴重な機会を大切に、日々の授業での学びと実習を結びつけ、生きた知識になるよう、引き続き院内実習に取り組んでまいりたいと思います。

(5年 佐藤 智尋)

○福岡の田舎から上京し、気づけば6年生。1年生のとき何を撮っていたのかを見ると、御茶ノ水駅や高層ビルや満員電車の写真があった。当時の自分には東京での景色は全てが衝撃的であったが、今では普通の景色となっていることに改めて”東京の人になった“という嬉しさがあった。しかし、以前帰省した時に両親から「方言を捨てたのか？」と言われたことを思い出し、生まれてからずっと使っていた言葉が数年で変わってしまったことに”東京の人になった“という寂しさを感じた。もし話し方に迷っている後輩がいれば、無理に変えずそのまま話してほしいと私は思う。ある人の言葉を借りるならば「方言は言葉につけたアクセサリ」なのだから。

(6年 角 賢典)

進学相談会の様子

歯学部教務課

令和6年度進学相談会は各回150名定員・事前予約制とし、第1回6月16日(日)、第2回7月21日(日)、第3回8月18日(日)に実施されました。

各回とも百周年記念講堂で学部説明を行った後、歯科病院を含む校内見学を実施しました。また、希望者に対し校友枠選抜全体説明会と、企画・広報委員、学務委員によるグループスタディールームでの個別相談が実施されました。この他、第1～5学年までの学生が説明を行うブースも設置され、参加者からは学生の生の声を聴くことが出来たと好評でした。

第2回では林真理子理事長と大貫進一郎学長が参加され、学長による新体制での新しい日本大学についての説明がありました。また、お二人から来場一人ひとりにメッセージカードが配布されました。

第3回では新企画として、第5学年清水一帆さんによる「学生の目からみた日本大学歯学部」について多くのスライドを交えて説明が行われ、実施後のアンケートでは多くの方から好評の声をいただきました。

問い合わせ先：歯学部教務課



ほけん室
から

「質のよい睡眠」 の3か条

秋の気配が感じられる季節となりました。この時期は朝と夕の寒暖の差が激しく、夏の疲れが出て体調を崩しやすくなり風邪をひいてしまう方も多くいます。そうならないためにも、栄養バランス・運動習慣と合わせて「質のよい睡眠」をしっかりととりましょう。

「質のよい睡眠」とは「寝つきがよい」「ぐっすり眠る」「寝起きすっきり」の3つが揃っていることです。睡眠と覚醒の深さはお互いに影響しあっているためグッスリ深く眠ると目覚めがスッキリし、起きてからの覚醒度が高く保たれます。ダラダラ眠ったり、休日に寝不足を取り戻すため遅い時間まで布団に入っていることは逆効果です。睡眠の質を向上させるほど、疲労から心身を回復させるだけでなく、免疫力アップ・学力向上・美肌・ダイエット・アンチエイジング効果など学業や仕事、日常生活の中で様々なメリットをたくさん感じられるようになります。秋の夜長、しっかりと眠ることを心がけ冬に流行する感染症に備えましょう。

令和6年度 第1回 公開講座案内

令和6年度
第1回
(通算50回)



日本大学歯学部 公開講座

演題 **みんなで「食べる」を支えよう
～イートロス対策していますか？～**

摂食機能療法学講座 教授 米永 一理

日時 令和6年11月30日(土) 13時30分～15時終了予定
※13時00分 受付開始

場所 日本大学歯学部本館7階創設百周年記念講堂

主催/日本大学歯学部

東京都千代田区神田駿河台1-8-13

<https://www.dent.nihon-u.ac.jp>

問い合わせ先 庶務課 03(3219)8001

後援/千代田区

協賛/日本大学総合生涯学習センター

聴講 無料

事前申込QRコード



■定員200名

※事前申込を推奨しております。

■マスクの着用に、ご協力をお願いします。

■車での来校はご遠慮下さい。



交通機関

●JR中央線 総武線 御茶ノ水駅下車 徒歩2分

●東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅下車 徒歩2分

●東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅下車 徒歩5分

NewsPlus α

☆第56回全日本歯科学学生総合体育大会解団式開催

9月12日(木) 17時30分から本館7階創設百周年記念講堂において、第56回全日本歯科学学生総合体育大会結果及び解閉式が開催されました。大会結果・写真等は、本号P3からP5ならびに背表紙をご覧ください。



☆父母懇談会が実施されました

10月5日(土)に父母懇談会が実施されました。詳細は次号225号(令和7年1月15日発行)にて報告いたします。

☆桜菰祭が開催されました

10月11日(金)・12日(土)に桜歯祭が開催されました。
次号225号(令和7年1月15日発行)にて特集いたします。
桜歯祭の写真を募集します。楽しかった思い出を桜
歯ニュースに掲載しませんか。庶務課まで(de.general@
nihon-u.ac.jp) 件名を「桜歯祭写真提供」と記載して送付
してください。



学 事

歯学部行事予定

- 10月 4日(金) 日本大学創立記念日
5日(土) 父母懇談会
11日(金)・12日(土) 桜歯祭
19日(土) 外国人留学生選抜、編入学試験、転部試験
26日(土) 解剖体追悼法要
11月 9日(土)・10日(日) リーダーズキャンプ
16日(土) 学校推薦型選抜(公募制)
学校推薦型選抜(付属高等学校等)
校友子女選抜
12月23日(月) 卒業者発表

科学研究費助成事業交付決定者

(令和6年9月1日付、課題番号順)

☆挑戰的研究（萌芽）

今井 健一

☆研究活動スタート支援

清水なつ生

お知らせ

寄付金の受け入れ

(9.20現在)

=研究助成金=

- | | | | |
|-------|-------------|---------------------------------|------|
| 100万円 | 株式会社ジーシー | 歯科保存学第Ⅰ講座へ
(代表取締役社長 中尾 眞 殿) | 7.10 |
| 50万円 | サンメディカル株式会社 | 歯科補綴学第Ⅲ講座へ
(代表取締役社長 中島 祥行 殿) | 9.13 |
| 50万円 | サンメディカル株式会社 | 歯科保存学第Ⅰ講座へ
(代表取締役社長 中島 祥行 殿) | 9.13 |
| 30万円 | サンメディカル株式会社 | 歯科保存学第Ⅱ講座へ
(代表取締役社長 中島 祥行 殿) | 9.13 |
| 50万円 | サンメディカル株式会社 | 歯科理工学講座へ
(代表取締役社長 中島 祥行 殿) | 9.13 |

編集後記

本年は毎日の気温が40℃に迫る、とにかく暑い夏となった。そんな中、全日本歯科学学生総合体育大会が開催され、それぞれの競技で優秀な成績を修め、本学部を総合2位に導いてくれた。2年連続での好成績は見事なものであり、参加した学生を誇らしく思う。ここまでくるとさらなる高みを望んでしまうが、今の本学部にはそれが出来るように思う。学生の中には部に所属していながら、大会に参加しない学生もいるという。自身の学生時代を振り返ると、その経験や思い出は、6年間を通して忘れられない貴重なものとなっており、友人が集うと、いまだにその時のことを楽しく話している。学生たる者もちろん学業が大切であるが、それだけではなく学生時代にしか出来ない大切な事にも目を向けてもらいたい。10・11月は行事が目白押しである。勉学の合間をぬって、二度と帰らぬ学生生活の中で、新たな思い出を作ってもらいたいと願うばかりである。

表紙の写真は学祖山田顕義ゆかりの地である山口県萩市菊ヶ浜から見た指月山です。津田啓方先生（生化学講座）にご提供頂きました。

第224号 日本大学歯学部発行
東京都千代田区神田駿河台1-8-13 TEL 03 (3219) 8001

